

都市再生整備計画 事後評価シート  
北斗市新幹線新駅周辺地区

平成28年3月

北海道 北斗市

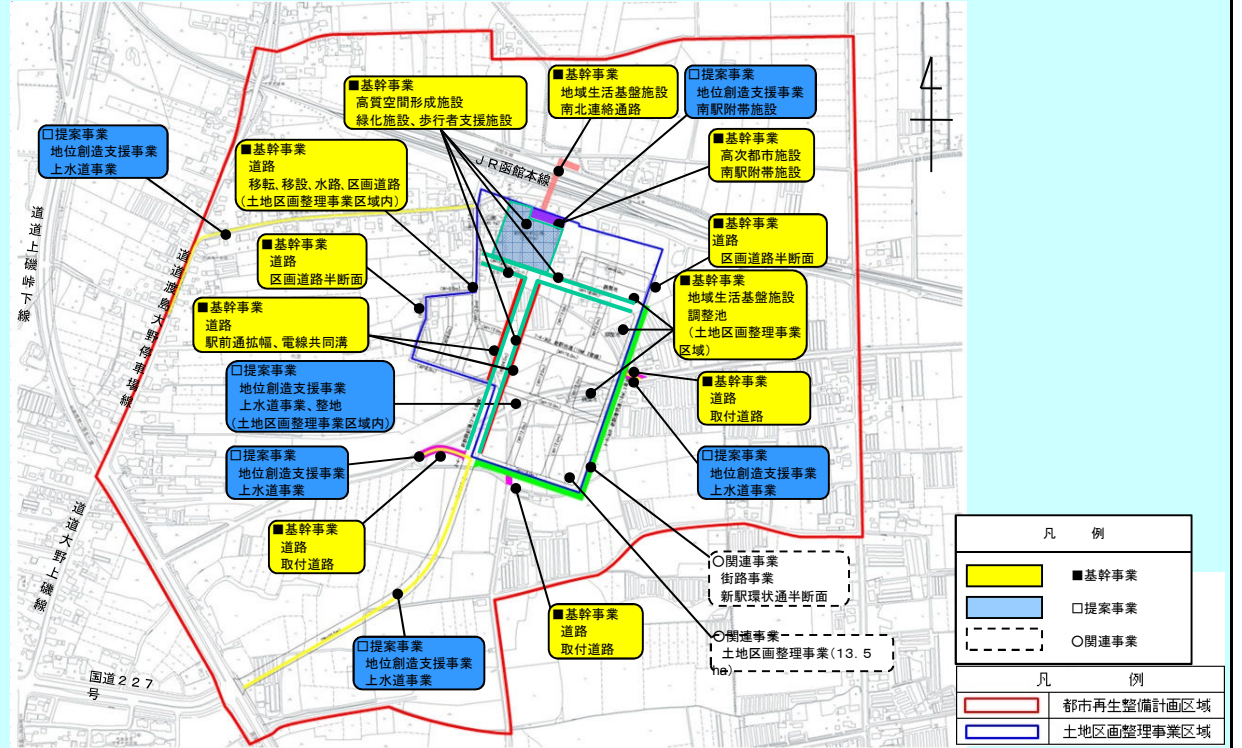
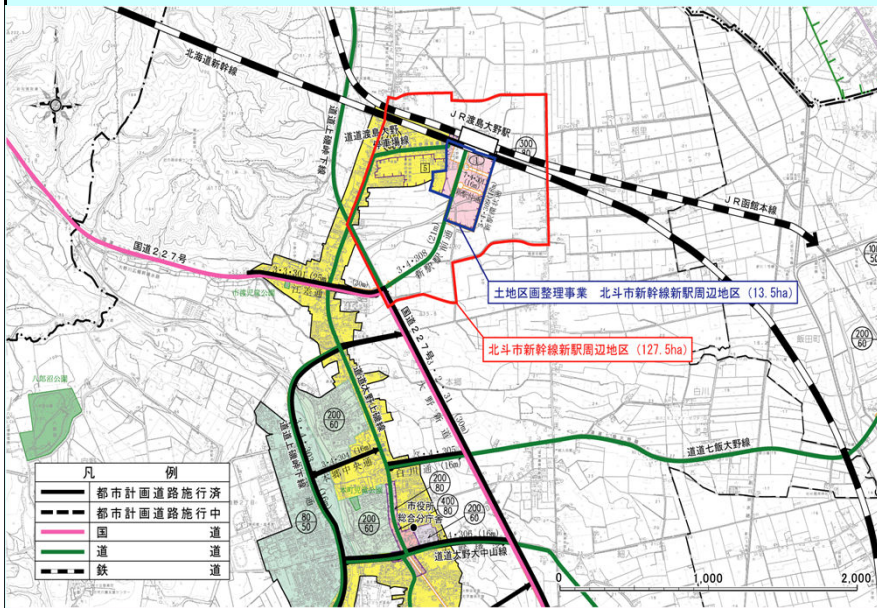
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道		市町村名	北斗市		地区名	北斗市新幹線新駅周辺地区			面積	127.5ha	
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	2681.2百万	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	道路（移転、移設、水路、区画道路、歩専道、電線共同溝、区画道路半断面、取付道路、新駅前通拡幅）、高次都市施設（南駅付帯施設）、地域生活基盤施設（調整池）								
			提案事業	地域創造支援事業（上水道、整地、南駅付帯施設）								
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし								
			提案事業	なし								
新たに追加した事業		基幹事業	地域生活基盤施設（南北連絡通路）、高質空間形成施設（緑化施設等、歩行者支援施設等）			既存の人道跨線橋が新幹線本線工事により支障となったため、南北連絡通路の整備を追加 H24年度に基幹事業の複数化が可能となったことから関連社会事業から移行			新規事業追加や事業内容の変更があったが、目標、指標、数値目標に影響なし			
		提案事業	なし									
交付期間の変更		当初変更	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
	指標1	民間商業・業務床面積の増加	m <sup>2</sup>	1,260	H21	6,000	H26	モニタリング	3,000	△	ありなし	H29.3
	指標2	地域住民の交通利便性への満足度	%	16	H21	25	H26		43	○	ありなし	本事業において、商業用地として基盤整備は完了したが、目標値を超えるまでには至っていない。 歩行者の安全性の確保と交通アクセスの向上が図られたことから、指標の達成につながった。
	指標3										ありなし	
3)その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	指標		単位	従前地	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況	・道路事業や街路事業により、道路や歩道照明が整備され、交通アクセスの向上及び生活環境の改善につながった。											
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	持続的なまちづくり体制の構築		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					

## 様式 2-2 地区の概要

北斗市新幹線新駅周辺地区（北海道 北斗市） まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標：北海道新幹線新駅の開業に併せて行う新たな都市拠点の創出と地域の活性化 目標1：新たに都市基盤施設を整備し活力のある商業地を形成する。 目標2：周辺を含む地域住民および商業従事者の交通利便性を高める。	民間商業・業務床面積の増加	単位：㎡	1,260	H21	6,000	H26	3,000	H27
	地域住民の交通利便性への満足度	単位：%	16	H21	25	H26	43	H27



まちの課題の変化  
 新たな都市拠点の創造を図るための商業・業務地としての基盤整備が図られた。新幹線新駅がもたらす発生集中交通を踏まえた道路網が形成されていなかったが、新駅開業に併せたアクセス道路並びに関連道路の整備が進められた。

今後のまちづくりの方策（改善策を含む）  
 交通アクセスの充実のため、新幹線開業後の交通動態に基づき、道路などの基盤整備を図る。新幹線利用客に適した商業施設の誘致を進める。